

発行所：  
公益社団法人 長崎県看護協会  
〒854-0072  
長崎県諫早市永昌町23番6号  
TEL(0957)49-8050(代)  
FAX(0957)49-8056  
発行責任者：日野出悦子  
印刷：株式会社クラフィット

令和6年度 通常総会	2
令和6年度 重点目標・重点事業	4
三職能委員会活動計画	5
地区支部だより	6
「看護の日」記念行事	8
災害支援ナース交流会	11
病院紹介 長崎県対馬病院	12

理念

私たち対馬病院職員は「対馬の人々が、泣きながら生まれ、健やかに育ち、朗らかに働き、穏やかに老いて、安らかに人生を終えること」ができるように支援します



長崎県対馬病院

# 通常総会

開催日 令和6年6月15日(土)  
 場所 本会場 ながさき看護センター  
 支部会場 下五島、上五島、杵岐、  
 対馬(オンライン配信)



## 通常総会を終えて

会長 日野出 悦子

6月15日(土)ながさき看護センターにおいて、令和6年度公益社団法人 長崎県看護協会通常総会を開催いたしました。総会には、5年ぶりに大石長崎県知事、大久保諫早市長(代理)、森崎長崎県医師会長、他多くの関係団体の皆様をお招きし、式典を開催しました。出席者は、委任状提出者も含め7,906名でした。

開会の私の挨拶で、昨年10月に制定後30年を経て改定された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」に触れ「看護職が人々の健康と生活を支えるために、専門職の専門性の高さに見合った処遇の下、多様な領域で就業を継続できるよう取組むため、一人ひとりの看護職が、何ができるか考え、共に取組み進めていきたい」とお伝えしました。また、昭和46年、諸先輩方々のご尽力により開設された長崎会館で、事業を行ってきた在宅支援事業部と県南支部事務所は、令和6年5月に移転したことをご報告いたしました。長崎会館は、平成12年に本協会がながさき看護センターに移転するまでの間、多くの会員の学びの場であり活動の拠点であったことから、皆様にとっては思い出多い場でありました。新たな事務所で会員、協会職員一丸となって前に進んでいくことをご説明いたしました。

その後、8名の方の叙勲等の受賞(章)報告と23名の方々への長崎県看護協会会長表彰を行いました。

式典終了後の通常総会では、議決事項の「令和5年度決算報告」「名誉会員の推薦」「令和6年度改選役員・選挙管理委員・推薦委員の選出及び令和7年度日本看護協会代議員等の選出」は、いずれも承認されました。

また、令和5年度事業、令和6年度の重点目標・重点事業並びに事業計画と収支予算を報告いたしました。議事につきましては、会場参加の会員の皆様から、質問並びに協会事業の運営に関する多くのご意見をいただきました。会員の皆様からいただいたご意見は、理事会で協議し、協会の今後の事業活動と運営にしっかりと活かし、会員の皆様に還元できるよう取組んでまいります。なお、質問並びに意見については、「協会だより8月号」に掲載しております。

会長として2年目(2期目)を迎えることとなりましたが、引き続き、本協会の理念に則り、県民の健康な生活実現に寄与できるよう、皆様からのご意見をいただきながら事業推進してまいりますので、皆様の更なるご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

## おめでとうございます

### 受賞(章)者のご紹介

※敬称略

#### 令和6年度 長崎県看護協会名誉会員

金澤 きみ代 野田 哲子

#### 令和6年春の叙勲 瑞宝双光章

井口 恵美子 福田 妙美

#### 令和6年春の叙勲 瑞宝単光章

柏木 美佐子

#### 令和6年度 日本看護協会会長表彰

道辻 美佐子

#### 令和6年度 看護事業功労者知事表彰

尾上 恵美子 佐竹 啓子  
立山 雅子 横山 藤美



山口ミュキ名誉会長と名誉会員の金澤きみ代氏



叙勲受章、日看協会会長表彰受賞、知事表彰受賞の皆様

#### 令和6年度 長崎県看護協会会長表彰

荒木 智加恵 (長崎大学病院)  
 伊福 加代子 (長崎大学病院)  
 今井 末美 (池田病院)  
 入江 弘美 (長崎大学病院)  
 江頭 あや子 (長崎大学病院)  
 大崎 栄子 (長崎大学病院)  
 小川 美紀 (宮崎病院)  
 川原 美和子 (長崎みなとメディカルセンター)  
 木村 良重 (長崎大学病院)  
 楠本 美和 (長崎みなとメディカルセンター)  
 坂口 千鶴子 (佐世保市総合医療センター)  
 塚元 美佐 (宮崎病院)  
 月原 美奈子 (佐世保市総合医療センター)  
 富永 幸子 (宮崎病院)  
 中尾 孝子 (佐世保市総合医療センター)  
 能田 美穂 (井上病院)  
 畑中 美保子 (日本赤十字社長崎原爆病院)  
 東江 美 (宮崎病院)  
 藤谷 恵美 (長崎大学病院)  
 松尾 由紀子 (日本赤十字社長崎原爆病院)  
 峯 麻紀子 (重工記念長崎病院)  
 森 順子 (長崎医療センター)  
 吉井 美和 (長崎県精神医療センター)

※五十音順、( )内は推薦時点での勤務先



長崎県看護協会会長表彰受賞の皆様



**重点目標1 全世代の健康を支える看護機能の強化**

- 重点事業1-1 地域における看護職の確保と活躍推進**  
 ①保健師・助産師・看護師の確保・活躍推進

**重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援**

- 重点事業2-1 就業継続が可能な看護職の働き方の普及・支援**  
 ①看護職員の処遇改善の推進  
 ②看護業務効率化の推進  
 ③多様で柔軟な働き方の提案
- 重点事業2-2 看護職のキャリアの構築支援**  
 ①ナースセンターの強化策の検討  
 ②NCCSの活用と安定的な運用
- 重点事業2-3 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進**  
 ①あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援  
 ②研修受講履歴管理システム(マナブル)の導入  
 ③看護職の生涯学習ガイドラインの普及

**重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮**

- 重点事業3-1 看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡充**  
 ①タスク・シフト/シェアの推進  
 ②看護補助者の確保・定着の推進
- 重点事業3-2 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進**  
 ①特定行為研修の更なる受講推進と修了者の活動推進

**重点目標4 地域の健康危機管理体制の構築**

- 重点事業4-1 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備**  
 ①災害等発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会との連携強化
- 重点事業4-2 長崎県看護協会のBCP(事業継続計画)策定**  
 ①長崎県看護協会のBCPの作成

**基盤強化事業**

- 引き続き、公益法人としての今後の在り方について、検討を重ね、基盤強化事業に取り組む。
- ①会員の確保  
 ②長崎会館解体に伴う事業部移転の実施  
 ③組織基盤の強化



**保健師職能委員会**

保健師職能委員長 稗園砂千子

保健師は、行政、産業分野、医療分野等と幅広い分野で活動しており、保健師職能委員会は、委員長以下県、市町、企業、総合病院、健康事業団の8人の委員で構成しています。毎月1回の委員会は、働く組織の違う委員が、それぞれの組織・職場で保健師が取り組むべき健康課題について情報共有し、解決に向けた取り組みを一緒に考える場となっています。

コロナ禍を経て、様々な課題が顕在化し、保健活動の在り方も変化しています。昨年度は令和4年に日本看護協会が実施した保健師活動基盤調査の長崎県の結果を分析したところ、新任保健師の離職や中堅期保健師の人材育成についての課題も明らかになってきました。今年度は8月に開催する保健師ネットワーク会議で長崎県保健師の現状と課題について共有し、職域を超えて対策を考え協力を検討する場にしたいと思っています。

また、12月には様々な領域で活動する保健師が交流し、つながる場として保健師交流集会を開催します。今年度のテーマはネットワーク会議の結果も踏まえ今後の保健師活動に必要なことを考える(第2弾)と計画しています。例年、異なる分野で働く保健師との交流による情報共有や共感、お互いをエンパワメントする貴重な機会となっています。

**助産師職能委員会**

助産師職能委員長 山本 直子

助産師職能委員会は、病院、教育分野に勤務する委員8名で活動しています。「助産師はあなたのそばにいます…」助産師は母子保健と助産の専門職としての人の誕生から老年までのさまざまな健康課題にかかわっています。そのため、母子のみならず、女性の生涯における性と生殖にかかわる健康相談や教育活動を通して家族や地域社会に広く貢献し、その活動は育児やウイメンズ・ヘルスケア活動を包含しています(公益社団法人日本助産師会: midwife.or.jp)。本年度、助産師職能委員会では、さらなる助産師としての質の向上と助産師活動の啓蒙活動のために、医療施設、地域での母子保健活動の実施と支援体制構築に向けた研修会等を計画しています。

1. 「女性の健康」三職能合同研修会(看護職)
2. 「アフターピル(緊急避妊薬)の基礎知識」研修・交流会(看護職)
3. 「豊かな性を伝えたい(性教育)」研修・交流会(看護職)
4. 「国際助産師の日」イベント(地域住民を対象とした母子保健活動: 未来長崎ココウォークイベント会場)
5. 性教育セミナーの開催(県内小学校、中学校、高校、関連施設)

内容の詳細については、随時お知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

**看護師職能委員会**

看護師職能委員長 峯 麻紀子

看護師職能委員会は、Ⅰ(病院領域)・Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅領域)からなる委員13名で活動しています。

看護師職能Ⅰでは「みんなで考えよう! 看護師・看護補助者間のタスク・シフト/シェア」のテーマで佐世保中央病院看護部長の横山氏より話題提供をいただき研修交流会を行います。基本指針改定や診療・介護報酬改定においても看護補助者の採用・業務内容の見直しや育成が求められているため企画しました。

看護師職能Ⅱでは「介護職員の教育指導に関わる問題解決のために~施設看護職の連携を図ろう~」をテーマに、昨年度実施した実態調査結果の報告と、かいご花みずきの看護師 深堀氏より「施設における介護職のスキルアップ~看護職がデキルコト~」について話していただく交流会を企画しています。

看護師Ⅰ・Ⅱ合同では、長崎産業保健総合支援センターの基幹相談員 田川氏より「ポジティブ・メンタルヘルスで活力ある毎日~セルフケアのポイント~」をテーマにご講演いただきます。

また、看護師職能委員会として、看護の現場で行っている問題の情報収集・課題発見・意見集約などを行い、全国および九州地区別職能委員長会議に参加し、情報発信と課題解決に向けて取り組んでいきます。

# 地区支部だより

各支部の活動やお知らせをお届けします

## 県南支部 支部長 糟谷 操子

アフターコロナの時代となり県南支部事業は地域住民とふれあう機会が多くなりました。5/11 看護の日記念事業として昨年度に引き続き、浜町ベルナード観光通りにおいて「看護の魅力を知ろう」というテーマで開催され、血管年齢・血圧測定・乳房チェック・健康相談に加え、AED体験を行いました。親子での参加や看護師志望の高校生の参加もあり、多くの市民の方々の参加で盛況に開催することができました。約600名と大勢の参加があり、健康についての相談や指導を通じ、地域住民とのふれあいの大切さを改めて感じました。5/19の春フェス健康祭り「知ろう・防ごう・生活習慣病」というテーマで血圧測定と血管年齢測定などを行いました。事前予約制でしたが約100名と多くの参加があり、健康に対する地域住民の意識の高さを感じられました。6/22には新旧合同委員会を開催しました。旧運営委員・委員の皆様、本当にお疲れ様でした。これからも、継続される委員の方、新しい委員の方と共に、支部事業に邁進していきたいと思っています。



## 県央支部 支部長 中尾 理恵子

5月11日、ながさき看護センターにて「看護の日ザ! いさはや」を2人の講師を迎え、講演を開催しました。同会場では、1日看護体験、ふれあい看護体験発表、まちの保健室、出店等も実施し、300名余りの参加者があり大変好評でした。これからも地域の皆様に看護の心を伝えて行きたいと思っています。6月22日に会員集会和拡大委員会を実施しました。令和5年度の事業報告、新旧委員の交代及び引継ぎが実施しました。今後も看護職の皆様の声を反映し、職場において看護の本質を大切にしたいと考えています。看護実践が増え、看護職のやりがいに繋がるような交流会を企画してまいります。看護職にとっても地域の皆さんにとっても、安全、安心、安楽になるよう努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。



退任の挨拶



新任の挨拶

## 県北支部 支部長 橋本 康代

令和6年6月2日に、佐世保市と歯科医師会主催のデンタルフェスティバルが開催されました。「生きる力食べる楽しみ」のテーマのもと、ポスター展示やクイズラリー・歯科無料相談コーナーを通じて、参加者が楽しみながら歯の健康を学ぶイベントです。

今回、職能運営委員で虫歯が全身に与える影響や、健康を保つための口の体操についてのポスター展示を行いました。また「まちの保健室」として、来場者に血圧測定・血管年齢測定や健康相談を実施しました。

日頃から健康を意識されている高齢の方や、家族連れの参加が多く、普段の生活習慣を確認しながらアドバイスをすることができました。血管年齢の数値に一喜一憂される場面も多くあり、看護師視点で運動・食事や水分摂取などのアドバイスをしました。

今後も市民の健康増進の意識向上のため、参加者がすぐに取り組めるようわかりやすい説明を心がけて、活動継続してまいります。



## 下五島支部 支部長 江口 美子

下五島支部では、6月15日に新旧役員の交代を行いました。旧役員の皆様本当にお疲れ様でした。新たな体制で今年度も看護協会活動を盛り上げていきたいと思っています。6月23日には、五島長崎国際トライアスロン大会（パラモンキング）が開催され、看護協会員も救護として大会をサポートしました。10月26日には、離島就業看護職員研修として、講師に長崎県精神医療センターの精神科認定看護師 松尾洋一先生をお招きし、「メンタルヘルス・ストレスマネジメントについて」をテーマに開催予定です。相談事業の推進としては「まちの保健室」の開催等、地域の皆様の参加いただける活動も準備していきたいと思っています。今後ご理解ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



## 上五島支部 支部長 法村 円美

今年度より、上五島支部長に就任いたしました法村円美と申します。微力ではありますが、運営委員、委員会の皆様のお力をかりながら、研修やイベントなどの活動に取り組んで参りたいと思っています。

COVID-19が5類へ移行し1年が経過して、上五島でもWithコロナの中で5月には看護の日を記念事業を盛況に終えることができました。6月23日には、町役場主催の「健康まつり」へ参加し、血圧測定や血管年齢測定、健康相談へ大勢の住民の方が訪れ関心の高さが伺えました。

今年度は、8月「高校生ふれあい看護体験」、10月「認知症支援・他職種のかかわり方」をテーマとした離島就業看護職員研修、2か月毎の「まちの保健室」などの活動を計画しております。また、地域の皆様との交流を図りながら、看護の魅力・看護の心をお伝えできたらと思っています。今後とも皆様のご理解ご協力を宜しく願います。



## 壱岐支部 支部長 末永 美幸

壱岐支部では令和元年を最後に5年ぶり開催となる『高校生ふれあい看護体験』を7月開催します。看護の体験、先輩看護師とのふれあいの中で対面でしか感じる事のできないこの機会を多くの方に提供していきたいと思っています。

### 【活動報告】

- 7月25日(木) 18:30~19:30 看護職交流会  
テーマ: ストーマケアの看護実践  
3施設31名の参加でした。「ストーマの基本的知識を学ぶことができた。在宅での対処法や日常生活の指導ポイント等とてもわかりやすい講義だった。」等のご意見が聞かれ有意義な研修となりました。
- 9月7日(土) 13:30~ 離島就業看護職員研修  
テーマ: 職場におけるハラスメント



## 対馬支部 支部長 福島 利恵

今年度から対馬支部長を務めます、福島利恵です。皆様のご協力をよろしくお願い致します。支部の活動は、4月に三宇田浜の砂浜を望みながら、渚さくらウォーキングが開催され、健康コーナーを開設しました。天候が悪く、強風の中でしたが、島内のあちこちから元気な子供さんからお年寄りまで多くの参加がありました。コーナーに立ち寄りおしゃべりして下さった方の明るい笑顔に癒された日でした。5月は、城下町ウォーキング大会が開催されました。こちらは天候に恵まれて、コーナーにも多くの方が立ち寄り下さいました。健康チェックとグッズの配布を行いました。笑顔あふれるひと時を過ごしました。6月は対馬市での最大のイベントである国境マラソンIN対馬で、まちの保健室の活動を行いました。当日は雨模様でしたが、ゲストの高橋尚子さん、猫ひろしさんや市民ランナーの方々の姿に元気を頂けるイベントでした。今後も、笑顔あふれる健康イベントに協力し、活動を充実させて行きたいと思っています。





# 看護の日

## 県南支部

県南支部では5月11日(土)、浜の町アーケードベルナード観光通で記念行事を実施しました。訓練用人形を使ったAED体験には、看護師志望の高校生、介護職員として働く外国籍の方、見学で興味を持った親子連れなど、多様な参加がありました。

まちの保健室委員による健康チェックには血管年齢測定148名、血圧測定170名、乳房チェック41名、健康相談15名と多くの市民の皆さんが列を作りました。

ほか、長崎市地域包括ケアシステムと協力して「元気うちから手帳」啓発(213部配布)、ナースセンターの就業・進路相談窓口にも具体的な相談が寄せられるなど、総数651名の市民参加となりました。



## 県央支部

5月11日「看護の日」記念行事を開催しました。若い人たちに今後看護職を選んで頂くために「きり看護の仕事」の動画配信と県央支部内の職場紹介を掲示し、各施設の特色がみられ見ごたえがありました。講演は泉川病院の看護局病院長 平田光さんから能登半島地震における「災害医療支援を終えて」と題して多くのスライドを使って生の体験を聞かせて頂き胸に迫るものがありました。加えて災害はどこで起こるか分からないと言うことで災害に備えた備品の準備、ハザードマップでの居住地の確認など教わりました。続けて佐藤たかねさんにより「笑いヨガ」の講演では最初に夫の介護体験のご苦勞を語って頂き、涙無しでは聞けませんでした。私達医療従事者は患者さんやご家族の思いにもっと耳を傾ける必要性を痛感致しました。最後に「腹の底から大笑い」をし、明るい気持ちとなり大いに会場が暖まりストレス解消になりました。地域の方、学生さんなど約300人の参加があり、好評価のアンケート結果でした。



▲ふれあい看護体験発表  
▲1日看護体験  
▲災害医療支援を終えて  
▲笑いヨガ

## 県北支部

令和6年5月11日(土)13時~15時、させば四ヶ町アーケード内の十八親和銀行前で、「看護の日フェスタ」を開催しました。「まちの保健室」「福祉用具展示」「白衣試着体験」「車椅子試乗体験」他多数の体験ブースを設置しました。まちの保健室では、血管年齢や健康相談など待機が出るほどの盛況でした。ノルディックウォーキングではポールを使った歩き方を体験され「姿勢が良くなり安定感がある」など意見が聞かれました。白衣試着体験では年少の子供さんから高校生の参加があり、看護師気分を味わっていました。130名以上の来場者があり、アンケートでは「知らないことを体験できて良かった」などの声が多く聞かれ、看護の魅力を伝えられたと感じました。



## 下五島支部

下五島支部では、5月11日に五島シティモールの店頭で、「看護の日」イベントを開催しました。「看護の日週間」のお知らせとして看護の日記念グッズやチラシの配布で、「看護の心をみんなの心に」と呼びかけました。「看護の日ってあるとねえ。」と驚かれる方もいて、これからは広報活動が必要であると思いました。病院や施設では年間を通して感染対策を行っています。市民の皆さんは、いづらか感染対策についての意識が薄れているように感じます。改めて、手洗いやアルコール消毒について手洗いチェッカーを用いて指導、お話をさせて頂く機会としました。今後も支部として、地域に貢献できる活動を行っていききたいと思います。



## 吉岐支部

吉岐支部では、5月12日(日)に春の最大イベントである八日市で、「まちの保健室」の開催を計画していました。今年度は、血圧測定・糖化度測定・健康相談・グッズの配布等で看護の日のPRを予定していましたが、当日は生憎の大雨で屋外での活動が厳しく、やむを得ず中止させていただきました。フローレンス・ナイチンゲールの生誕の日に、看護職の魅力をPRすることは出来ませんでした。8月には次世代を担う学生を対象に「ふれあい看護体験」を計画しております。一人でも多くの若者に看護職の魅力を感じて頂き、私たちの仲間が増えることを目指し、今後も活動に取り組んで参ります。



## 上五島支部

上五島では5月19日(日曜日)の10:00~12:00 うどんの里において看護の日記念行事としてまちの保健室を行いました。当日は曇り空ではありましたが穏やかで過ごしやすかったです。血圧測定・体脂肪測定を行い、合間にお話しさせてもらい健康相談を行いました。同日は小学校の運動会等の行事も重なり来客が少なかったのは残念でした。しかし、このうどんの里での定期的なまちの保健室を開催しているおかげで「看護協会の存在」を認識されるようになったと感じることができました。

今後も継続して地域の方々とのふれあいを大切にしていきたい。

参加していただいたスタッフの皆様お疲れ様でした。



## 対馬支部

「看護の日」5月12日は近代看護の象徴でもあるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。毎年の事ですが、初心に戻り、看護師を目指していた頃の新鮮な気持ちになります。日々の業務や看護協会の活動を通して、命を守るプロとして、この精神・看護の心を忘れないようにしたいと思います。対馬支部は今年も天候にも恵まれ、施設内のスペースをお借りして、活動を行いました。オレンジの旗を見て、地域の方々が集まって下さいました。グッズの配布とチラシ配り、健康相談、血圧測定等を行い、市民の方々と楽しく会話する事が出来ました。看護師を目指す、若い世代にはアピール出来ませんでした。小さい子やお母さん達と交流を図りました。皆さんとお会いする事でこちらが元気をもらいます。今後も活動を通して、地域に貢献出来るようにしていきたいです。



# 看護の日

5月17日（金）、長崎県庁及び長崎医療センターにおいて、ラッピングバスの出発式及びイベントを開催いたしました。出発式では、出席者約70人の前で、大石県知事に御挨拶をいただきました。また、保育園児による手話を交えた可愛い歌の披露や、看護職への応援メッセージをもらい、会場がなごやかな空間となりました。記念撮影の後、バスは長崎市中心部を巡回し、大村市の長崎医療センターに到着。長崎医療センターでは、高山院長に御挨拶をいただきました。医療センターのキャラクターの「ヘリドック太くん」や、大村市立市民病院の新人看護師や活水大学の職員のみなさんも駆けつけてくださり、かんごちゃんも参加した皆さんとPRバスをバックに記念撮影を行いました。

出発式の様子は、テレビや新聞の取材があり、「看護の日」を広く県民に広報できました。

ご協力いただきました県医療人材対策室の皆様、快く場所を提供していただいた長崎医療センターの高山院長はじめ、看護部、総務部門の皆様、そして、出席して下さった会員の皆様、ありがとうございました。



▲出発式



▲看護の日ノート・ペン記念グッズ

# 災害支援ナース交流会を開催しました!!

テーマ：想像力を高めて「もしも」に備える

## 災害をイメージし防災につながる行動がとれる

2024年6月29日（土）13:00～16:30にながさき看護センターで開催され、訪問看護ステーションや病院など幅広い施設から37名、そのうち災害支援ナース以外の方で災害に興味をもたれている方17名の参加がありました。能登半島地震における活動報告では、中野氏は日本DMATとして輪島総合病院に派遣され活動された報告、水町氏は広域派遣看護師として珠洲市総合病院で活動された報告がありました。また今回、日本防災士会の方によるHUG（避難所運営ゲーム）を使用しての講義がありました。グループに分かれて実施したHUGの中で避難所運営する上での起こりうる問題について様々な意見が聞かれゲームを通して具体的に避難所運営について学ぶことができました。受講後のアンケート結果、「色々な考えを持つ機会がありました。私たち看護師だけではなく知識が必要だと思いました」「実際に被災地で対応された方のお話を聞くことができよかったです」などの意見が聞かれました。



地方独立行政法人  
佐世保市総合医療センター  
中野 真由美 氏

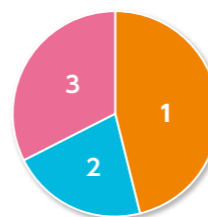


独立行政法人  
労働者健康安全機構 長崎労災病院  
水町 育代 氏



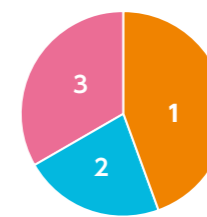
日本防災士会  
長崎県支部  
旭 芳郎 氏

### 交流会参加の動機は？



- 1 テーマに興味があった
- 2 災害支援ナースに興味があった
- 3 災害看護に興味があった

### 今後交流会で希望する企画は？



- 1 災害看護について
- 2 感染症看護について
- 3 災害支援ナースの位置付け



災害支援ナースは、  
2024年4月より医療法改正により、  
自然災害はもちろん、  
新興感染症発生時の派遣にも  
対応するようになりました。

文責：災害看護委員会

### 災害支援ナース 募集中

養成研修をうけて、  
災害支援ナースの登録を  
お願いいたします。

# 病院紹介

Hospital introduction

## 長崎県対馬病院



当院は、対馬島内の2つの病院を再編統合し、2015年5月に新築移転、開院しました。今年度で10年目を迎えます。病床数275床、診療科25科、総職員数431人、看護職員169人、2次救急輪番・災害拠点となる島の基幹病院です。一般3病棟、地域包括ケア1病棟、精神1病棟があり、離島の病院ではありますが、手術室、DSA室、LDR室、透析室、無菌室、放射線治療室、高圧酸素療法室、化学療法室などを備え、幅広い疾患を治療し、地域の保健医療介護福祉の中心的な役割を果たしています。

看護部は、つしま（対馬）の頭文字からなる「つながる信頼マルチな看護」を理念としています。新生児から看取りまで、対馬に暮らす人々の一生涯に関わるような継続看護と地域連携を行っています。また、一般病棟は、混合病棟であるため、多様な疾患に対応できるジェネラリストが多いことは自慢です。3次救急患者は、本土へのヘリ搬送を行っていますが、対馬島民の医療看護は対馬で完結することを目標に、多職種で協力し、日々奮闘しています。

看護師の人員確保と看護部内の活性化のため、短期間の応援ナース（ジャパンハート等）やアイランドナース（長崎県病院企業団の事業：都市部と離島の看護師交流）を採用しているのも当院の特徴です。

### 看護部理念

つながる信頼マルチな看護



病棟スタッフの集合写真



精神科病棟の作業療法、患者さんとスタッフで準備しました「春カフェ」



産婦人科病棟  
沐浴は癒しのひと時です



海上自衛隊の  
交通艇の視察  
災害時に陸路が  
絶たれた場合の  
海路による  
患者搬送の検討



新人教育は  
プリセプター制度です。  
プリセプターと新人で

夜勤のナース服は、紺色です。夜勤明けの時間外削減に繋がっています。



インスタグラム  
[tsushima.nurse]

看護師確保の対策としてインスタグラムで看護部の情報発信しています。

